

## 決算特別委員会

### ○平成25年度決算について

9月定例会以降13回にわたり委員会を開き、各事業の予算が議決の趣旨に沿って適正かつ効率的に執行され、所期の目的が十分達成されているかどうか留意し、慎重なる審査を行い、12月定例会で認定いたしました。

### ○審査における意見

#### 1 一般会計歳入について

①「勝山市税外収入金延滞金等の減免に関する要綱」の制定にあわせて、滞納債権に対する対応の方針も定めて運用していることは評価する。今後も、適切に対応できるように努められたい。

②一部法人の大口滞納問題については、依然として収入未済額の大部分を占めている状況は変わっていない。今後ともさまざまな対策についても研究し、引き続き積極的な滞納整理を進め、収入未済額の縮減に一層努められたい。

#### 2 一般会計歳出について

①指定管理事業、各委託事業の結果成果については、事業報告書に記載する事項を統一するなどして、効果の測定、評価の基準を明確にされたい。

②予算流用については、法的に問題

ないことは確認したが、金額が大きいのなどが見受けられる。予算審査の経緯を踏まえると、議会に対する説明が必要なものもあると考えるが、一定の基準を設けるなど対応を検討されたい。

③ウェブラジオ開設支援事業については、補助金で整備した設備、備品の所有形態、責任の所在を明確にして管理されたい。

④平泉寺飲食物開発事業委託の成果物については、地域の経済活動につながるように活用するため市民団体等への働きかけ、支援をされたい。

⑤平泉寺案内補完機能制作業務委託の成果物について、所有権、責任の所在を明確にして管理されたい。

⑥「エコミュージアム推進事業」の「わがまち助成事業」で得られた成果物については、積極的に活用して地域の発展に寄与するよう市民団体等に対して指導、助言し、勝山市全体がさらに活性化するように努められたい。

⑦かつやまあじな便り事業については、さらに勝山らしさをアピールする内容となるよう精査し、負担した金額に対して購入者の満足度が上がるよう努められたい。

⑧男女共同参画社会促進事業については、啓発事業が主になっているが、男女共同参画社会実現のための根本的な施策の推進を検討され

たい。

⑨生活路線バスについては、車体に統一感がなく、利用者が識別しにくい状況にある。生活路線バスとして認識しやすく、利用しやすくなるよう配慮されたい。

⑩結婚相談事業については、個別の丁寧な相談対応及び少数グループに対するイベント事業とそのアフターケアによって、着実に成果を上げていく。事業をさらに充実させ、工夫を凝らした事業により、積極的に推進するよう努められたい。

⑪乳幼児健康支援一時預かり事業委託、病児デイケア促進事業（病児保育）委託については、業務内容を精査し、受託事業者に過度の負担にならないように配慮されたい。

⑫農業、商工業の振興策については、「ものづくり技術・研究開発支援事業」「かつやま逸品開発・販路開拓事業」などで得られた成果物に対して、特に販売に関する支援の取り組みを更に推進することも適切に評価して、市民団体や地元業者の経済活動がさらに活性化するように努められたい。

⑬市内幹線道路沿いの案内看板については、観光客等地理に不案内な人にもやさしい配置となるよう調査研究されたい。

また、郡町交差点の観光案内電光掲示板については、更に効果的

にPRできるよう検討されたい。

⑭温泉センター水芭蕉については、指定管理者からの報告書を精査し、運営状況や施設の修繕の状況を常に把握して、健全運営が図れるよう指導されたい。

⑮映像誘致事業費については、事業評価を十分行い、今後の事業に反映されたい。

⑯有害鳥獣対策については、さらに市民生活の安全安心を確保するために、支援策等を充実するよう努められたい。

有害鳥獣による人身被害の発生については、「勝山市災害見舞金支給規則」に準じた内容で見舞金等を支給できないか検討されたい。

⑰定住化促進事業費については、Uターン、Iターン者の増加が見込めるよう、事業内容を精査して、本来の事業目的に沿った効果が見込めるように努められたい。

⑱道路、用排水路、上下水道施設等の社会基盤の整備については、老朽設備の更新を視野に入れて計画的に進めるとともに、さらに積極的に取り組むよう努められたい。

⑲長尾山総合公園の占用許可にかかわる使用料の算定基準については、使用形態の多様化も考慮し、見直すことを検討されたい。

⑳青少年健全育成計画推進事業については、中学生、高校生に対する施策をさらに取り入れて積極的に